

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年7月30日
【四半期会計期間】	第24期第3四半期（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）
【会社名】	ハイブリッド・サービス株式会社
【英訳名】	HYBRID SERVICE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 重川 晴彦
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号
【電話番号】	03（6731）3410
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 池上 純哉
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号
【電話番号】	03（6731）3410
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 池上 純哉
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社では、過年度に不適切な取引及び会計処理が行われている疑義が判明し、外部の第三者調査委員会による事実関係の解明等を行ってきましたが、平成24年7月24日に調査結果を受領いたしました。

当社では、第三者調査委員会による調査及びその後の社内調査の結果を受けて、在庫の不適切な返品処理に関する会計処理を検討し、過年度における四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項があるとの判断に至りましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成21年11月に提出した第24期第3四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、三優監査法人により四半期レビューを受け、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(2) 仕入実績

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(2) キャッシュ・フローの状況

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

【第3四半期連結会計期間】

【注記事項】

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

(1株当たり情報)

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

3【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第24期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 会計期間	第23期
会計期間	自平成21年1月1日 至平成21年9月30日	自平成21年7月1日 至平成21年9月30日	自平成20年1月1日 至平成20年12月31日
売上高(千円)	<u>14,748,016</u>	4,904,077	21,808,714
経常利益(千円)	51,885	<u>11,640</u>	31,393
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失(△)(千円)	△28,483	<u>10,286</u>	△98,675
純資産額(千円)	—	1,601,748	1,643,113
総資産額(千円)	—	7,164,570	8,326,861
1株当たり純資産額(円)	—	29,407.14	30,166.58
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額(△)(円)	△522.93	<u>188.85</u>	△1,811.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	—	22.4	19.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	△57,288	—	178,858
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△274,903	—	△24,159
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△222,001	—	△390,807
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	—	1,598,065	2,150,106
従業員数(人)	—	108	101

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、当第3四半期連結累計期間及び第23期においては1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第3四半期連結会計期間においては希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第24期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 会計期間	第23期
会計期間	自平成21年1月1日 至平成21年9月30日	自平成21年7月1日 至平成21年9月30日	自平成20年1月1日 至平成20年12月31日
売上高(千円)	14,689,516	4,904,077	21,808,714
経常利益(千円)	51,885	16,140	31,393
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失(△)(千円)	△28,483	12,539	△98,675
純資産額(千円)	—	1,601,748	1,643,113
総資産額(千円)	—	7,164,570	8,326,861
1株当たり純資産額(円)	—	29,407.14	30,166.58
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額(△)(円)	△522.93	230.22	△1,811.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	—	22.4	19.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	△57,288	—	178,858
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△274,903	—	△24,159
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△222,001	—	△390,807
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	—	1,598,065	2,150,106
従業員数(人)	—	108	101

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、当第3四半期連結累計期間及び第23期においては1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第3四半期連結会計期間においては希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

～中略～

(訂正前)

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
	金額(千円)
マーケティングサプライ事業	4,065,644
その他の事業	<u>596,505</u>
合計	<u>4,662,150</u>

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

～後略～

(訂正後)

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
	金額(千円)
マーケティングサプライ事業	4,065,644
その他の事業	<u>542,505</u>
合計	<u>4,608,150</u>

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

～後略～

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則に基づき四半期連結財務諸表を作成しており、前第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表については独立監査人の四半期レビューを受けていないため、当文章中の前年同四半期連結会計期間と比較した指標、金額は「参考値」として記載しております。

(訂正前)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、一部では景気持ち直しの動きも見られたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化等、引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境でも、市場全体が拡大局面から成熟局面を迎え、さらに景気後退による個人や企業の節約志向の影響により消費需要が抑制され、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ごとの適正利潤の確保やコスト管理の徹底など収益力の向上に努めてまいりました。また、新タイプのLED照明、新衛生除菌水及びその専用噴霧器等の環境面を意識した新商材の拡充により環境事業への取組みを強化するとともに、親会社である株式会社エフティコミュニケーションズよりファシリティ関連事業を譲受けるなど、事業ドメイン拡大を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は4,904百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は22百万円（前年同期比7.8%減）、経常利益は11百万円（前年同期比23.6%減）、四半期純利益は10百万円（前年同期比67.4%増）となりました。

～中略～

(訂正後)

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、一部では景気持ち直しの動きも見られたものの、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の悪化等、引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境でも、市場全体が拡大局面から成熟局面を迎え、さらに景気後退による個人や企業の節約志向の影響により消費需要が抑制され、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ごとの適正利潤の確保やコスト管理の徹底など収益力の向上に努めてまいりました。また、新タイプのLED照明、新衛生除菌水及びその専用噴霧器等の環境面を意識した新商材の拡充により環境事業への取組みを強化するとともに、親会社である株式会社エフティコミュニケーションズよりファシリティ関連事業を譲受けるなど、事業ドメイン拡大を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は4,904百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は22百万円（前年同期比7.8%減）、経常利益は16百万円（前年同期比6.0%増）、四半期純利益は12百万円（前年同期比104.1%増）となりました。

～中略～

(訂正前)

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動において仕入債務の減少やたな卸資産の増加等で資金を使用しましたが、借入金にて資金調達を行った結果、前四半期連結会計期間末に比べ101百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は1,598百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は174百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額301百万円があった一方で、仕入債務の減少額299百万円、たな卸資産の増加額151百万円があったこと等によるものであります。

～後略～

(訂正後)

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動において仕入債務の減少やたな卸資産の増加等で資金を使用しましたが、借入金にて資金調達を行った結果、前四半期連結会計期間末に比べ101百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は1,598百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は174百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額240百万円があった一方で、仕入債務の減少額299百万円、たな卸資産の増加額97百万円があったこと等によるものであります。

～後略～

第5【経理の状況】

～中略～

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】
 (訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	14,748,016
売上原価	13,469,034
売上総利益	1,278,981
販売費及び一般管理費	※ 1,200,616
営業利益	78,365
営業外収益	
受取利息	3,348
受取配当金	519
受取手数料	2,848
その他	6,152
営業外収益合計	12,869
営業外費用	
支払利息	37,295
その他	2,053
営業外費用合計	39,348
経常利益	51,885
特別利益	
固定資産売却益	2,510
投資有価証券売却益	671
貸倒引当金戻入額	500
特別利益合計	3,681
特別損失	
固定資産売却損	719
固定資産除却損	23
投資有価証券売却損	1,567
投資有価証券評価損	48,069
事務所移転費用	1,657
特別損失合計	52,036
税金等調整前四半期純利益	3,530
法人税、住民税及び事業税	10,122
法人税等調整額	21,891
法人税等合計	32,013
四半期純損失(△)	△28,483

(訂正後)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成21年1月1日
至平成21年9月30日)

売上高	14,689,516
売上原価	13,415,034
売上総利益	1,274,481
販売費及び一般管理費	※ 1,200,616
営業利益	73,865
営業外収益	
受取利息	3,348
受取配当金	519
受取手数料	2,848
受贈益	4,500
その他	6,152
営業外収益合計	17,369
営業外費用	
支払利息	37,295
その他	2,053
営業外費用合計	39,348
経常利益	51,885
特別利益	
固定資産売却益	2,510
投資有価証券売却益	671
貸倒引当金戻入額	500
特別利益合計	3,681
特別損失	
固定資産売却損	719
固定資産除却損	23
投資有価証券売却損	1,567
投資有価証券評価損	48,069
事務所移転費用	1,657
特別損失合計	52,036
税金等調整前四半期純利益	3,530
法人税、住民税及び事業税	10,122
法人税等調整額	21,891
法人税等合計	32,013
四半期純損失(△)	△28,483

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	4,904,077
売上原価	4,485,730
売上総利益	418,346
販売費及び一般管理費	※ 395,739
営業利益	22,607
営業外収益	
受取利息	1,067
受取配当金	219
仕入割引	680
受取手数料	669
その他	649
営業外収益合計	<u>3,287</u>
営業外費用	
支払利息	12,305
その他	1,949
営業外費用合計	<u>14,254</u>
経常利益	<u>11,640</u>
特別利益	
投資有価証券売却益	295
投資有価証券評価損戻入益	5,478
貸倒引当金戻入額	<u>3,916</u>
特別利益合計	<u>9,690</u>
特別損失	
投資有価証券売却損	288
特別損失合計	<u>288</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>21,042</u>
法人税、住民税及び事業税	4,199
法人税等調整額	<u>6,557</u>
法人税等合計	<u>10,756</u>
四半期純利益	<u>10,286</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	4,904,077
売上原価	4,485,730
売上総利益	418,346
販売費及び一般管理費	※ 395,739
営業利益	22,607
営業外収益	
受取利息	1,067
受取配当金	219
仕入割引	680
受取手数料	669
<u>受贈益</u>	<u>4,500</u>
その他	649
営業外収益合計	<u>7,787</u>
営業外費用	
支払利息	12,305
その他	1,949
営業外費用合計	<u>14,254</u>
経常利益	<u>16,140</u>
特別利益	
投資有価証券売却益	295
投資有価証券評価損戻入益	5,478
貸倒引当金戻入額	<u>3,216</u>
特別利益合計	<u>8,990</u>
特別損失	
投資有価証券売却損	288
特別損失合計	<u>288</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>24,842</u>
法人税、住民税及び事業税	4,199
法人税等調整額	<u>8,103</u>
法人税等合計	<u>12,303</u>
四半期純利益	<u>12,539</u>

【注記事項】

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

～中略～

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

	マーケティング サプライ事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,585,087	<u>1,162,929</u>	<u>14,748,016</u>	—	<u>14,748,016</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,250	20,774	46,024	(46,024)	—
計	13,610,337	<u>1,183,703</u>	<u>14,794,041</u>	(46,024)	<u>14,748,016</u>
営業利益又は営業損失 (△)	409,348	<u>△62,852</u>	<u>346,496</u>	(268,131)	<u>78,365</u>

～後略～

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

	マーケティング サプライ事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,585,087	<u>1,104,429</u>	<u>14,689,516</u>	—	<u>14,689,516</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,250	20,774	46,024	(46,024)	—
計	13,610,337	<u>1,125,203</u>	<u>14,735,541</u>	(46,024)	<u>14,689,516</u>
営業利益又は営業損失 (△)	409,348	<u>△67,352</u>	<u>341,996</u>	(268,131)	<u>73,865</u>

～後略～

(1株当たり情報)
(訂正前)

～中略～

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 522.93円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 <u>188.85円</u> なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△28,483	<u>10,286</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△28,483	<u>10,286</u>
期中平均株式数(株)	54,468	54,468
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(訂正後)

～中略～

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額 522.93円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 230.22円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△28,483	<u>12,539</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△28,483	<u>12,539</u>
期中平均株式数(株)	54,468	54,468
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月30日

ハイブリッド・サービス株式会社

取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉田 純 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山本 公太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているハイブリッド・サービス株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ハイブリッド・サービス株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。